

議会広報研修に参加して より良い紙面づくりを

三田 敏和

平成25年11月18日は福岡県議会広報ゼミナール(全国コンクール優秀紙から学ぶ)、19日は町村議会広報研修会「伝える公報から伝わる広報」に参加した。講師は広報コンサルタントの芳野政明氏。全国の優秀紙を見ると時間と知恵がうかがえる。(無論、金もかかっている)

議会の立場が鮮明(議会報らしきがあること)読者が何を求めているか!議会だより「いつも読んでるよ」との住民の声に満足してはいないか?我々、広報委員に求められている課題である。目を通すが読んでもらえない。目を引く記事の特徴として、

- ①住民の登場
- ②議会として提言がある
- ③一般質問の“追跡”企画がある
- ④独自の連載

が必要とされている。

記事をいかに集めるか地道な取材活動が必要と感じる。研修を重ねる毎に成果は出ていると思うが自己満足せず、伝わるように精進したい。



広域行政セミナー 自立する町づくり

峯 新一

平成25年11月15日、ホテルレガロ福岡にて、われわれ上毛町議会議員から6名が参加してセミナー(九州の自立を考える会)を受講した。

中央と地方の格差が拡大し、行き過ぎた競争原理による一次産業の衰退と人心の老廃といったひずみも蓄積していること、少子高齢化の進行などにより経済の長期低迷が続く中で、公的責務の累増、国際競争力の低下が進むなど、中央自体がもはや機能不全に陥りつつあるということを学んだ。

九州をはじめ各地方は、自立し、地方における産業政策・成長戦略や国民生活に関わる行政を一元的かつ総合的に担い、国は国際社会における国家としての存立に関わる事務や全国的な統一を要する事務などに専念するという新しい役割分担がある。

九州の自立を考える会は、国も地方も活性化し、ひいては我が国の新しい時代をひらくことにつながるよう九州全体で取り組み、全国をリードし、九州が自立することを目指す会です。

セミナーを聞いて感じたことは、大きな夢や理想もまずは、第一歩、わが町からだと思えます。



常任・議会運営委員長・副委員長研修会 議会・委員会はどうあるべきか

宮崎 昌宗

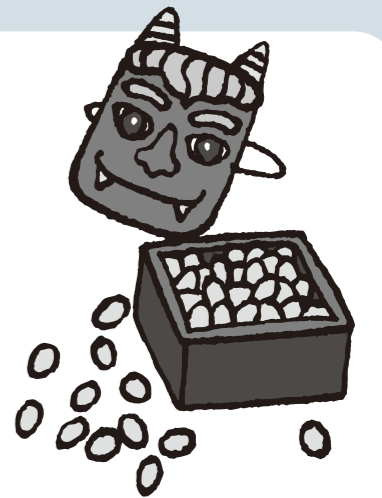
平成25年10月15日、常任・議会運営委員長・副委員長研修会を受講しました。講師は、田口一博氏(新潟県立大学国際地域学部准教授)で、演題は『委員会の運営について』でした。

講演は、委員会の運営術というより、これからの民主主義が、議会が、委員会が、どうあるべきかを提言した非常に有意義なものでした。講師の提言を以下に抜粋し紹介します。

- 開かれた議会とは、専門家や住民を公聴会・参考人などで活用することから、住民参加を考えて活性化を。
- 議員定数の法定数を無くしたのは、少なくするためでなく、多くしていいためで、それなりの議員数がなくては、正常な議論ができず住民の声が届かないし、民主主義を守れない。
- 議員の町のための活動は予算を使うべき、交通費などをポケットマネーで払えば寄付行為となり違法、政務活動費を定めるべき。
- 議会の定数や、どんな人物に議員になってほしいか、議会がどうあるべきかグランドデザインを描き、任期始めに議会としての4年間の到達目標を掲げ取り組もう。

など、すべては紹介できませんが3時間半の濃い内容でした。

地方分権が進めば、それだけ町行政の自主性や責務が高まります。住民の代表である議会も同じ。高まる議会の責務に応えるべく、議会・委員会のあり方を見直していきたいと思えます。



福岡県合併市町村シンポジウム スモール イズ ビューティフル

高畑 広視

平成25年11月15日、レソラNTT夢天神ホールにて福岡県合併市町村シンポジウムが開催され、200名ほどの参加があった。傍士銑太氏による「スモール イズ ビューティフル」地域再編後の発想と実践という基調講演から内容を抜粋し、報告する。

『獺祭(だっさい)』、山口県の日本酒で来春からフランスに進出すると言う。国を挙げての売り込みも蔵元のある町の名前は知らない。蔵元は岩国市。次に挙げるお酒の銘柄は、全国で人気上位のものばかりである。その市町村名をご存じだろうか。(1)山形「十四代」(2)福井「黒龍」(3)新潟「八海山」(以上日本酒)(4)鹿児島「魔王」(5)鹿児島「森伊蔵」(6)大分「吉四六」(以上焼酎)。※正解は末尾に記載

全国に酒の蔵元は1800ほどある。地酒が地元を代表する貴重なブランドということも多い。ところが実際は、こうした町の名前が、飲食店などの「メニュー」という晴れ舞台に顔を見せることは、地元県内に限られる。銘柄の頭には県名が表示されるだけとなる。このままでは、いくら銘柄が有名でも蔵元(地元)を知らない。

酒のメニュー表示に「地元の町」を書き加えるだけで、地域の自立の歯車が廻り始める。大分空港で借りたレンタカーのカーナビに「吉四六」の蔵元名が出ていたので立ち寄ってみるとかで、話が盛り上がる。銘柄や蔵元がどんなに世に出ても常に地元名と共にある。地元名をことあるごとに使いたいものである。

【正解は(1)村山市(2)永平寺町(3)南魚沼市(4)錦江町(5)垂水市(6)日出町】

